

平城宮東方官衙地区 SK19189 出土の木製品

—第440次

1 はじめに

本報告は、第440次調査（2008年度）において廃棄土坑SK19189から出土した木製品の追加報告である。この土坑の土壌は、1 mメッシュで区分され、コンテナ約2500箱分が採取された。この水洗選別作業は現在も継続中で、2014年2月現在で1200箱分が終了している。

檜扇などの一部は『紀要2009』で報告済だが、その後の水洗選別によって、確認されたものを含めて特徴的なものを報告する。なお、樹種については、別途報告の機会を得たい。

2 SK19189の概要と出土木製品

廃棄土坑SK19189は、東西約11m×南北約7 m、深さ約1 mの不整形の大型土坑で、奈良時代後半を中心とする土器、瓦、宝亀年間の年紀をもつ木簡やその削り屑、木製品などが大量に含まれる。土坑の堆積土は3層に区分され、木製品の大半は、最下層の木屑層から出土した。木製品の内容は多彩で、以下に述べるように、祭祀具、服飾具、遊戯具、紡織具、農具、武器、容器、食事具、部材、雑具などがある。

祭祀具 図Ⅲ-87、1は人形。頭部から頸部のみが残存する。薄い板目材を鑿状のもので楕円形状に整形し、その中に顔の輪郭、眉、目、鼻、口、髪、髭が墨書きされる。残存長3.6cm、幅2.0cm、厚さ0.1cm。2は立体人形。直径1.6cmの棒状の材の一端を加工し、頭部を削り出す。他端は若干細くなり、尖る。長さ14.1cm、最大径1.6cm。これのみSK19200（SK19189に隣接）から出土。

服飾具 3は檜扇の骨と考えられる。薄い柾目板を短冊状に整形する。下半部を欠損する。表面上部には、松の絵が流麗な調子で描かれる。中央部には長さ0.8～1.5 cmほどの直線が9本書かれ、裏面にも9本書かれている。残存長10.1cm、幅2.5cm。4は檜扇の骨5枚が重なったもの。骨は薄い柾目板を短冊状に整形する。骨の幅は1.5～1.8cmである。要部分には直径0.3cmの円形の穴が穿たれる。11は横櫛。長方形で肩が丸みを帯びる。3 cmあたりの歯数23枚を挽き出す。残存幅7.7cmで、同一個体

の歯から復元できる高さは5.0cm。厚さ0.8cm。12・13は耳かき。棒状に加工した材の下端を匙状に整形する。

遊戯具 5～8は賽子。やや厚みのある柾目板を立方体状に裁断する。5、6は裁断後に角を取っているが、7は裁断後に整形されていない。5、6は対面する目の和が七になるが、8はそれぞれ六、九、六となる。8は賽子の削片である。

紡織具 9・10は糸巻の横木。9は、加工が粗く、中央に柄孔が開いていないので未製品と考えられる。長さ11.5cm、幅2.5cm、厚さ0.9cm。10は横木の一端が残存するもの。残存長5.1cm、復元幅1.9cm、厚さ0.8cm。

農具 14は木錘。円筒状の材の中央部を細く加工する。幅5.6cm、最大径2.7cm。中央部の径は1.8cm。

武器 15は鳴鏑。心持材を削りぬいて、8面体のイチジク形にかたどる。それぞれの面の上よりに円孔をあける。基部に段を付ける。残存長3.8cm、復元径2.5cm。

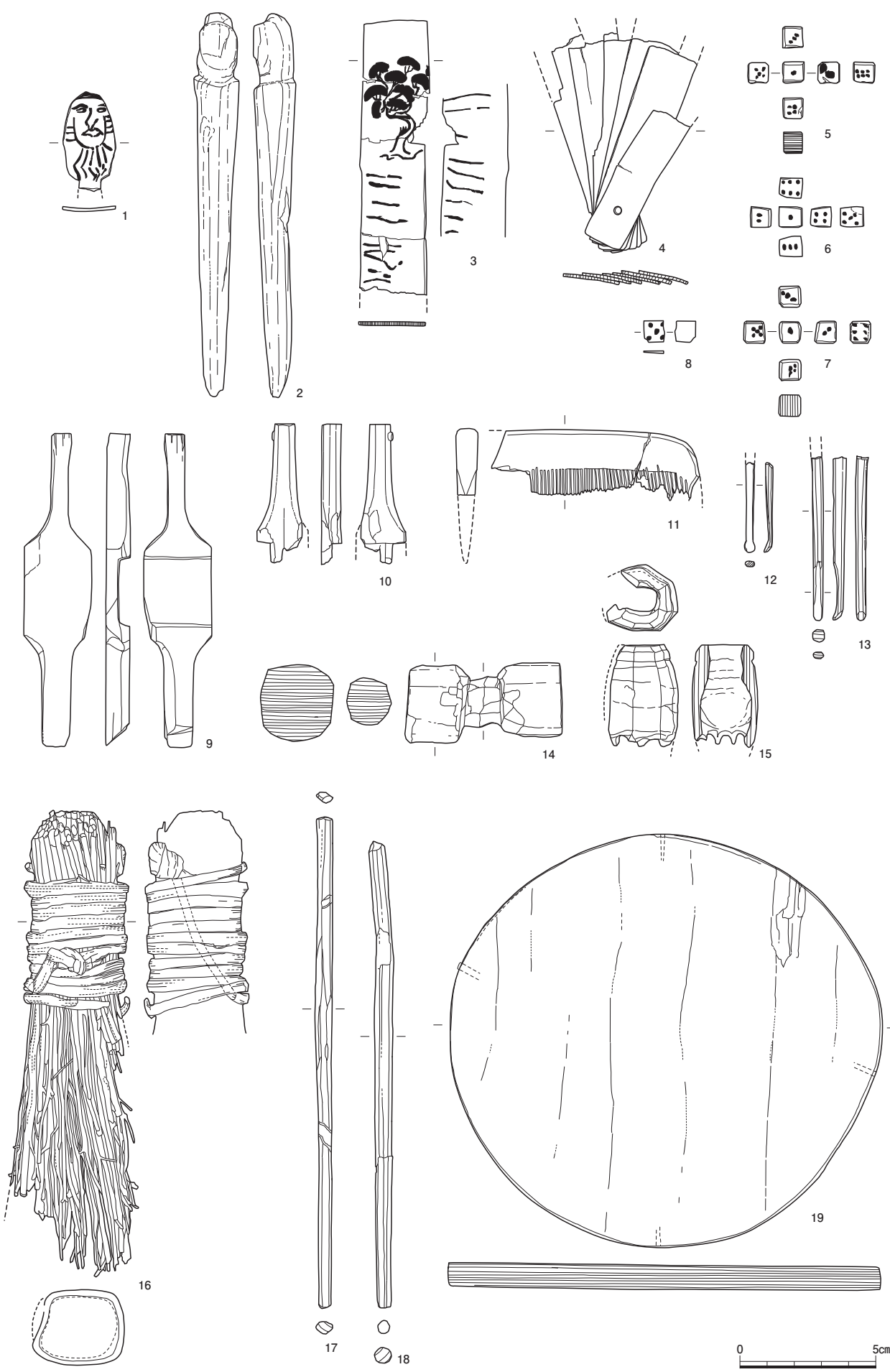
雑具 16は草蓆。ホウキグサを束ね、蔓でしばって固定している。柄の基端は束ねたあとに角を取るよう整形される。現存長17.2cm、緊縛部径3.3cm。

容器 19は釘接合曲物の底板。板目材を用い、表面を丁寧に面取りする。結合釘は4か所でほぼ均等に配する。径15.2cm×15.9cm。厚さ1.0cm。

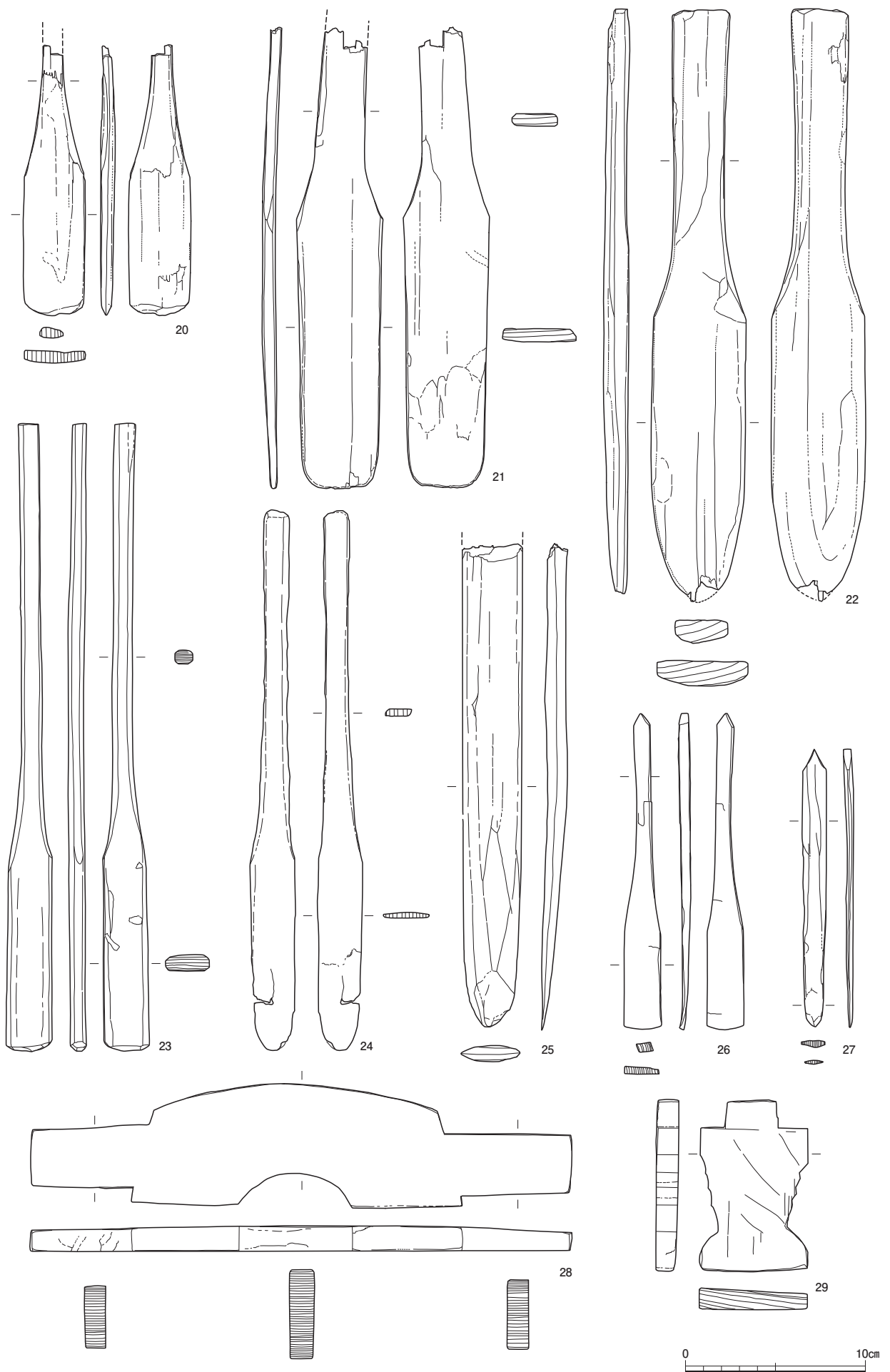
食事具 17・18は箸と考えられる。端と中央部の径がほぼ同じである。断面は多角形あるいは円形。完形品17の長さは、18.2cm、径0.5cm前後。図Ⅲ-88、20～22は杓子状木器。身の先縁を直線的に作るもの（20・21）と、半円形に作るもの（22）がある。加工は概して丁寧である。両側縁にも面が形成され、身部、柄部ともに長方形になる。23～27は匙形木器。身の先縁を直線に作るもの（23・26）、半円形に作るもの（24）、身の幅が狭く細長いもの（25・27）がある。23・24は柄部先端が直線的であるのに対して、26・27は山形となる。23・26の身部側縁は面をもつが、それ以外の断面は凸レンズ状になる。

部材 28は机などの支脚の補強用に取り付ける横棧か。柾目板を用いて両端に柄を設ける。中央下部に弧状の繰り込みを入れる。長さ30.1cm、高さ7.0cm、最大厚1.4cm。29は机などの脚か。板目材を用いて、上部に柄を作り出す。上部から中央に向かって逆台形状になるが、脚部に向かって撥形に開く。中央は波状に成形する。長さ9.5cm、幅6.0cm、厚さ1.2cm。

（芝康次郎）



图Ⅲ-87 平城宮東方官衙地区出土木製品 1 : 2



図Ⅲ-88 平城宮東方官衙地区出土木製品2 1:3